

津軽南地区小学生夏季陸上競技交流大会 競技注意事項

1 競技規則について

本大会は、2025 年度「公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則」及び「競技会における広告および展示物規程」並びに、本大会申し合わせ事項により実施する。なお、競技用靴に関しては小学生については公認記録の対象ではないが、競技規則 TR5. 2. を適用する。(靴底の厚さについては 2024 年 11 月 1 日より新ルール適用となり一律 20mm 以下とする。)

2 練習について

- (1) 本競技場での練習時間は、8 時 20 分までとする。また、トラックのみとしフィールドでの練習はできない。
- (2) 本競技場での練習区分は会場図を参照すること。
- (3) 跳躍と投てきの練習は、競技開始前に審判員の指示によって行う。審判員の指示以外勝手に練習しない。
- (4) レーンを横断する際は、前後左右をよく確認して安全に留意する。

3 招集について

- (1) トラック競技は招集所で行い、フィールド競技は現場が招集場所となる。
- (2) トラック競技の招集所は屋内練習場（100m スタート側）に設置する。
- (3) 競技者は出場種目の招集開始時刻がきたら招集所に集合して、競技者係よりユニフォーム、アスリートビブス、スパイク等の確認を受ける。
- (4) 招集時刻は、トラック競技は競技開始時刻の 30 分前に開始し 15 分前に終了する。また、フィールド競技は 40 分前に開始し 30 分前に終了する。
- (5) 棄権する場合は、招集開始時刻前までに欠場届けを招集所に提出する。
- (6) 招集完了時刻に遅れた競技者は棄権したものとして処理する。
- (7) ビデオ装置・レコーダー・ラジオ・CD・トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器、その他外部と連絡可能な電子機器類を競技区域内で所持、または使用することを禁止する。
(TR6. 3. 2) あらかじめチームまたは学校関係者に預けておくこと。招集所や競技場所でのこれらのことが明らかになった場合は、主催者で預かり、競技終了後に返却する。

4 番組編成について

- (1) トラック競技はすべて決勝タイムレースとし、主催者において公平に組み合わせし走路順を決める。

5 アスリートビブスについて

- (1) アスリートビブスは配付されたままの大きさと胸部と背部に確実に付ける。ただし、跳躍種目に出場する競技者は胸部または背部の一方でよい。
- (2) トラック競技に出場する競技者は、腰ナンバーカードをパンツの右やや後方に付ける。競技終了後は各自の責任において処分する。(周辺に放置しない)

6 スパイクシューズの制限について

- (1) スパイクの本数は 11 本以内とする。
- (2) スパイクの長さは 9mm を超えてはならない。

7 競技用具について

- (1) 競技に使用する用具は、主催者が用意したものを使用すること。
- (2) 競技者個人の用具は、練習用といえども競技場内に持ち込んではいない。

8 競技場の中に商品名のついた衣類、バックを持ち込む場合について

- (1) 日本陸上競技連盟「競技会における広告および展示物に関する規定」を適用する。それに示すサイズを超えてはならない。
- (2) 競技役員に指摘された場合は、その指示に従うこと。

9 競技について

- (1) スタートの合図は英語で行う。
- (2) 400m 以下の種目のスタートはクラウチングスタートするが、スターティングブロックは使用しなくてもよい。(スタンディングスタートは認めない)
- (3) 不正スタートをした競技者は同じ競技者が2回行くと失格となる。
- (4) スタートにおける不適切行為(TR16.5)については年齢を考慮し、注意にとどめイエローカード等の提示を含む処分はしない。
- (5) 競技する競技者以外は、トラック、フィールド内に立ち入ることはできない。
- (6) セパレートレーンで行う競技は、競技者の安全確保のためフィニッシュライン通過後も、自分のレーン(曲走路)を走り抜けること。また、欠場者のレーンはそのままあけておく。
- (7) リレー競技のオーダー用紙は、招集完了時刻の1時間前までに招集所に提出する。用紙は招集所に用意する。
- (8) リレー競技で使用するマーカーは各チームで用意し、レース終了後は確実に撤去する。
- (9) ジャベリックボール投の試技の際には、ボール本体を持ちオーバーハンドスローで投げることをとする。※羽だけを持って投げることは禁止する。

10 個人情報の取り扱いについて

- (1) 主催者は個人情報の保護に関する法律および関連法令等を遵守し、個人情報を取り扱う。
 - (ア) 本大会に関して寄せられた個人情報は、本大会の目的以外に使用することはない。
 - (イ) 参加申込書の提出により、上記(ア)の取り扱いに承諾を得たものと見なし、氏名・チーム名・学年・記録の紹介や掲示板等に記載し、本大会が認めた報道機関にも公表する。
 - (ウ) 本大会が認めた報道機関が撮影した写真が、新聞・雑誌・大会報告書・ホームページ等で公開されることがある。
- (2) 大会の映像・写真・記事・記録等は、主催者が承認した第三者が大会運営および宣伝の目的で、大会プログラムやポスター等の宣伝材料・テレビ・ラジオ・新聞・雑誌・インターネット媒体に掲載することがある。

11 表彰について

- (1) 各種目優勝者にはメダルと賞状、2～8位までは賞状を授与する。

12 その他

- (1) 救急、救護に関する処理は管理棟内の医務室で行う。ただし、応急処置は行うが以後の責任は負わない。
- (2) 競技場の施設、設備およびウォームアップ場は大切に使用する。
- (3) 盗難にあわないように、持ち物および貴重品の管理には十分注意する。
- (4) 拾得物については大会総務で保管するが、大会終了後は野球場事務室にて保管する。
- (5) ゴミは原則持ち帰ること。
- (6) 関係する競技者・補助員以外は、本部棟(記録室、招集所、トイレ)や競技場内には立ち入ることはできない。
- (7) 暑熱対策として、WBGT31度以上になった場合は競技を中断することがある。中断はアナウンスにより知らせる。中断後の競技については大会本部で協議し、アナウンスにより知らせる。